

## 示談書

〇〇〇〇（あなたのフルネーム）（以下「甲」という）と●●●●（不倫相手のフルネーム）（以下「乙」という）は、次のとおり合意した。

### 記

#### 第1条（不貞行為）

乙は、甲に対し、▲年▲月から▲年▲日までの間、甲の配偶者である△△（あなたの夫のフルネーム）といわゆる不貞関係にあったことを認めるとともに、これについて深く謝罪する。

#### 第2条（慰謝料）

1. 乙は、甲に対し、本件不貞行為に関する慰謝料として、金〇〇万円の支払義務があることを認め、これを本示談書締結日から〇〇日以内に、甲が指定する下記口座に振込む方法により支払う。また、振込手数料は乙の負担とする。

### 記

銀行名 〇〇銀行〇〇支店  
口座種別 普通  
口座番号 〇〇〇〇  
口座名義 〇〇〇〇

2. 乙は、甲の配偶者である△△に対する、本件不貞行為に関する慰謝料支払い債務に基づく求償権を放棄する。

3. 乙が、前項に違反し、〇〇に対して求償権を行使したときは、乙が〇〇に対して請求した金額と同額を、甲に対して直ちに支払うものとする。

#### 第3条（接触禁止）

乙は、甲に対し、正当な理由なく、今後、メール、SNS、面会など手段の如何を問わず、甲の配偶者である△△と一切接触しないことを約束する。

#### 第4条（迷惑行為の禁止）

乙は、甲に対し、甲の居宅を訪問すること、甲の名誉を害すること、その他甲に不利益となる一切の行為を行わないことを約束する。

第5条（違約金）

乙は、甲に対して、乙が前2条の約束に違反した場合は、違約金として1回あたり各金〇〇万円を甲に支払うものとする。ただし、甲が会社を退職することを余儀なくされるなど、金〇〇万円を超えて損害が生じている場合には、損害額に応じた賠償義務を負う。

第6条（清算条項）

甲及び乙は、甲と乙の間に、本示談書の定めるもののほかに、本件に関し、なんらの債権債務も存在していないことを相互に確認する。

上記のとおり示談したことを証として、本示談書を2通作成し、甲及び乙による署名捺印のうえ相互に1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

（甲）

住所

氏名

④

（乙）

住所

氏名

④